



中国、韓国、オーストラリア、日本における資料防災： 国立図書館からの報告

近年、国内外において災害が多発しています。日本国内においても本年3月11日に東日本大震災が発生し、図書館・文書館等の機関は深刻な被害を受けました。現在、復旧が行われており、長期に及ぶものと考えられます。今後、復旧を進めていくには、どのようなことが必要でしょうか。

また、災害は将来も必ず、発生します。将来の災害から資料を守るためには、あるいは被害を最小限にするためには、どのような備えが必要でしょうか。

今回は、アジア・オセアニアにIFLA/PACセンターを置く中国、韓国、オーストラリアの国立図書館及び当館が、災害の経験、各館が推進する資料防災対策、資料防災のための協力の推進について報告します。また、特別報告として、岩手県立図書館から、東日本大震災による図書館の被災、現在進めている復旧についての報告があります。資料の防災について情報共有や意見交換を行い、わが国及びアジア・オセアニア地域の図書館・文書館等の資料を災害から守り残していきたいと思います。

テーマ

「中国、韓国、オーストラリア、日本における資料防災：国立図書館からの報告」

講演 1 「中国における資料防災」（仮題）

李翠薇（中国国家図書館国家古典籍保護センター事務局副主任）

講演 2 「韓国国立中央図書館における資料防災と協力活動」

李貴馥（韓国国立中央図書館主席コンサバター）

講演 3 「オーストラリア国立図書館における資料防災及び協力ネットワーク」（仮題）

ジェニファー・ロイド（オーストラリア国立図書館コレクション管理部保存サービス課長）

特別報告「震災からの再生を目指して～岩手県における図書館の被災と復旧・復興支援～」

酒井久美子（岩手県立図書館長）

講演 4 「国立国会図書館における資料防災及び東日本大震災の被災地支援」

中村規子（国立国会図書館収集書誌部司書監、IFLA/PAC アジア地域センター長）

質疑応答

日 時：平成 23 年 12 月 1 日（木） 午後 1 時 30 分から 5 時 30 分まで

会 場：国立国会図書館東京本館新館 3 階大会議室

国立国会図書館関西館第一研修室（TV 中継）

定 員：東京本館、関西館ともに 80 名（先着順）

申込方法：電子メール（または FAX）で、①氏名、②希望会場、③所属機関名、④機関所在地、⑤電話番号、⑥電子メールアドレスを明記の上、**平成 23 年 11 月 24 日（木）**までに、下記あてにお申し込みください。

申込み先：国立国会図書館収集書誌部資料保存課保存企画係

電子メール：hazonka@ndl.go.jp TEL：03（3506）5219（直通） FAX：03（3581）3291

